

中野小屋中 C・S & 応援隊通信

令和6年9月27日

第11号

(C・S=コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度) =地域とともにある学校

令和6年度第3回学校運営協議会を開催しました

秋空にいわし雲が浮かんでいます。地域の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より中野小屋中学校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

9月11日(水)、中野小屋中学校ランチルームで令和6年度第3回学校運営協議会が開催されました。今回は、20日(金)に開催された地域合同防災学習に向けて生徒会で組織した実行委員も出席し、当日の計画を発表して、CS委員の皆さまから活発なご意見をいただきました。

前期学校評価(アンケートを基に抜粋)

- ※ 「主体的・対話的で深い学び」「個別最適・協働的な学び」のある授業は概ね好評価である。
- ※ 他者の良いところを認め、集団活動を円滑に進めることが出来ている。
- ※ メディア習慣については、学習用タブレット端末の使用を考慮して見守る必要がある。
- ※ 学校以外で身体を動かすには“ダンス”を推奨するのはどうか。子ども世代は馴染みやすい。

地域合同防災学習が行われました(9/20)

基礎講座・
生徒の発表



訓練、訓練、佐渡沖を
震源とした M7.1 の強い
地震が発生しました



避難訓練

災害が起きたら、まずは自分の身を守る。その後、大切な人々の安否確認をして、安全に動けるようなら、中学生として周囲の皆さんの助け合いに協力できたらと思います。避難行動やその後の協働行動を学習し、防災士さんや地域の方々と共に体験しました。実際に動いてみて初めてわかることも多く、また、自分たちは何ができるのか、の気付きや、共助活動に一步を踏み出す覚悟も持てた充実した一日でした。参加してくださいました皆さん、ありがとうございました。

避難所設営



パネルディスカッション

